

会津朝日岳登山

2016.10.4. (火) 長友さんと

友人の長友さんは2000年から日本三百名山に挑戦して、3年前に仕事も辞めて4月～11月の間は北海道から九州まで気候に合わせて各地の百名山・二百名山・三百名山を登ってきました。とうとう残り10座となり、9/23から新潟・福島・栃木県の山々を連日登りました。(9/24 御神楽岳・9/25 一切経山・9/26 安達太良山・9/27 二岐山・9/28 那須岳・9/29 セツ岳・9/30 荒海山・10/1 会津駒ヶ岳・10/2 帝釈山) 最後の記念すべき山「会津朝日岳」には私も祝福の為に同行登山を約束していました。天候不順でしたが9/4に決行との事で10/3に出かけて来ました。彼の情熱と努力には敬服しました。

10/3 (月、曇り) 7:20～9:08 須坂長野東IC～豊田飯山IC～9:45

道の駅千曲川 9:55～10:20 道の駅さかい 10:45～12:15 道の駅いりひろせ 12:55～(田子倉ダム、J-POWER只見展示館見物) 14:40 (走行236KM) JR只見駅で長友さんと合流し、「前祝」後車中泊。

10/4 (火、小雨のち曇り) 5:20～5:50 会津朝日岳赤倉沢登山口P 6:20

～7:15 三吉ミチギ水場 7:25～8:20 人見ノ松 8:30～8:45 叶ノ

高手～9:15 熊ノ平避難小屋 9:25～9:40 バイウチノ高手～10:05 会

津朝日岳山頂(日本二百名山、1624M) 10:50～12:05 叶の高手～14:00

登山口P(解散) 14:10～深沢温泉「むら湯」で入浴～16:05 道の駅きら

ら 289 で車中泊。

10/5 (水、晴れ夕方小雨) 5:30~6:30 桧枝岐村 (会津駒ヶ岳登山口下見
と宿予約、観光) 7:10~9:25 枝折峠越後駒ヶ岳登山口下見 11:30~
12:15 魚沼市役所 12:35~ (十日町・飯山経由) 16:00 須坂長野東 I C
~17:15 帰宅 (総走行距離 594KM)

10/3 は道の駅に寄ったり、見物したりでユックリ只見駅に向かう。只見線は新潟県の小出駅と福島県の会津若松駅を結ぶ全長 135.2KM、昭和 46 年に全線開通して豪雪地を抜ける重要な交通手段として人々の暮らしを支えて来た。平成 23 年 7 月の豪雨災害により鉄橋の流失や線路崩壊で甚大な被害を受けて只見~会津川口駅間の被害が大きく復旧の見通しが立たず代行バス運行を続けている。一日 3 往復の列車が丁度只見駅に折り返し停車中だった。長友さんと合流し、その 2 両編成のディーゼルカーを眺めながら「前祝」をする。

10/4、早めしを済ませて登山口へ向かう。

只見駅



会津朝日岳登山口



今日は登山者には合わないだろうと二人とも思っていたが、何と年配のご夫婦

が登山の準備をしていた。浜松ナンバーの車がありテントで前泊したとの事だ。天気予報が又外れて何と小雨が降り出す。ご夫婦は出発したが、我々は様子見にするが遅れて出発する。途中で雨具を着るハメになったが、そのうちにやんだ。登山道は予想以上に手入れがされていて歩き易い。案内標識も距離を含めて記載されている。ブナなどの多い広葉樹林帯なのでこれからの紅葉が素晴らしいだろう。急な岩場を越えると山頂と言う所でやっと先行のご夫婦に追いついた、健脚な人達だ。山頂はガスッテいて、時々田子倉湖や近くの山が見えるだけの生憎の天気だが三百名山の完登達成を祝う。

大クロベ



会津朝日岳山頂



3 百名山・ついに達成！



ご夫婦に記念写真を撮ってもらえて感謝。長友さんは感無量のようにだったがその気持ちは察する。山頂に「山名標」が無くて淋しかった。

会津朝日岳



下山し始めたら天気が快方に向かったが展望が楽しめるほどにはならない感じだった。歩き易い登山道だったので疲労感も少なく下山した。長友さんと別れて桧枝岐村への途中の

深沢温泉「むら湯」で入浴、赤褐色の源泉かけ流しのいかにも体に良さそうな温泉だった。一昨日長友さんが車中泊した南会津町の道の駅「きらら 289」で私も車中泊する。

尾瀬御池



奥只見湖と平ヶ岳、荒沢岳



10/5、予想以上に開けた明るい民家も点在する沼田街道（352号線）を桜枝岐村に向かう。日本百名山挑戦中に燧ヶ岳下山後、次の目的の会津駒ヶ岳登山の際に前泊をした懐かしい村だ。

平ヶ岳への中ノ岐林道。



越後駒ヶ岳



平家の落人伝説に彩られた素朴な山里である。来週予定の会津駒ヶ岳登山の下見を兼ねて登山口を見てから民宿の予約をする。七入からは舗装はされているが山岳道路でカーブの連続で、紅葉も始まっていた。来週は見頃になるので楽しみだ。懐かしい尾瀬御池を過ぎて樹海ラインで銀山平へ。カーブの多い山岳道路だ。平ヶ岳登山の時の雨池橋、荒沢岳登山口、伝の助小屋、白銀の湯など懐かしい所を通過して枝折峠へ。目的は来週の越後駒ヶ岳登山の時に泊まる駒の

小屋の水場に水があるか？下山者から情報を得るためだ。魚沼市の担当者は「枯れば週末に現地入りする小屋の管理人から下山後連絡があるが、連絡が無いので大丈夫」と言うが今年は残雪が早くに無くなって心配だ。体力的にも水を沢山背負っての登山は無理、同行者も高齢で体力的に日帰りは日程的含めて避けたいので。昨夜小屋泊の下山者を待ったがどうも泊まった者は無の感じで誰も降りて来ない。車は6台駐車してあるので日帰り登山者を待つとなると健脚者でも13:00過ぎまで待たなくてはならない。今日小屋泊の登山者に下山後連絡をしてもらおう手に変更するが登山者も来ない。11:30近くなったら何と健脚の単独が日帰りで下山してきた。後から単独が2名下山して来るとも言った。計3人から水場の件を聞くが3人共日帰りなので水は持参していたので、水場には寄らなかったのでは分らないが上から眺めても水があるとは考えられないと言う。それにしても昨日とうって変ったの好天で荒沢岳・越後駒ヶ岳・八海山等の山並みが雄大で綺麗だった。帰路魚沼市役所に寄って担当者に直接聞いたら「湧水で枯れる事は今まで無かったし、一昨日水場を確認した」との事で安心する。上越新幹線の浦佐駅前を通過して後山トンネル経由で十日町で給油（往路ここが1L115円税込と何故か格別に安かったので、魚沼市は122円、飯山市は119円）道の駅に寄りながらユックリ帰宅する。

赤沼健治